

L'aile d'Howl

【ライル・ドウル：ホウルの翼(伝説)】

2014年7月号



先月の銘苅選手に続き、ノルウェーから内林選手、上町選手が来花！シーズンオフの貴重な時間にお越しいただきありがとうございました！



夏の県民体☆HC岩手、富士大学が頂点に立つ！

7月5日6日の両日、国体県予選となる岩手県民体育大会が花巻市総合体育館で開催されました。梅雨の合間の天気恵まれ、コートが非常に暑くなる環境の中、社会人そして小学生チームが県の頂点をかけて勝負に挑みました。

初日の試合では、例年上位に名を連ねていた不来方クラブが初戦で白聖クラブに敗退。地元・花巻クラブは、2回戦で富士大学に前半3点差で食いついていきますが、後半失速し34-20で敗退しました。また、学生を中心に構成された柳家矢巾クラブは、各大学に散らばった急造チームだったためか、なかなかプレーが噛み合わず岩手大学に苦戦。なんとか1点差で逃げ切り、薄氷の勝利を収めました。結果、男子の部でベスト4入りしたのはHC岩手、白聖クラブ、富士大学、そして柳家矢巾クラブ。女子の部では、不来方クラブ、岩手桐花クラブ、富士大学、そして白梅三英英会の4チームが準決勝に進出しました。

大会2日目、男子準決勝では、昨日に引き続き柳家矢巾クラブは個人技で得点は上げるものの、なかなか点差を広げることができません。一方若いメンバーが多数いる白聖クラブは堂々と渡りあい、前半を13-13の同点で折り返すと、後半も13-13のタイ。大会規定上、戦いは7MTCに突入。会場中が見守る中、互いに2本ずつ外し、28-28の同点。ここで、白聖クラブの武蔵GKが最後のシュートを阻み、白聖クラブが久々の決勝戦に駒を進めました。もう一方のブロックでは、成年男子代表のHC岩手が富士大学を下し、堂々の決勝戦進出を果たします。迎えた決勝では、経験値で勝るHC岩手が試合巧者な展開で、岩手県の成年男子代表の風格をみせ、26-16で優勝を果たしました。若いメンバーとベテラン選手が見事に噛み合った結果だったと思います。



女子の部では、富士大学が前半8点差と大きくリードして折り返すと、リードを保ったままゲームセット。東北学生界の女王として、威厳ある勝利を飾りました。ここ数年、岩手県の成年女子は国体本選に出場できていませんが、なんとか2年後の岩手国体に向け、来るミニ国体でもいい結果を出せるように頑張ってもらいましょう。

一方、同日開催された小学生部門の試合では、アンダー8の部でなんと2試合連続での7MTC！会場に駆け付けた親御さんたちとチームメイトの声援を受けて、これまで経験したことのないプレッシャーの中、7Mスローを打ち、そしてゴールマウスに立つ子供たち！チーム数が増えたためにトーナメントとなり、勝負の厳しさを体験するいい機会にもなりました。小学生とはいえ、7Mはたまに練習しておいた方がいいかもしれませんね。

結果は、男女ともに矢巾フェニックスが優勝。我が花巻クラブジュニアは、男子3位、女子準優勝という成績でした。なお、東北大会、東日本大会において、各県2チームに出場が制限されたことを踏まえ、今大会はその予選という位置づけに。上位チームから出場したい大会を選べるようにした結果、矢巾フェニックスと花巻クラブジュニアが8月の東日本大会(チェリーカップ)に、リトルハンドとヴォルペ滝沢が12月の東北大会に出場することになりました。それぞれの大会で上位に入賞できるよう頑張ってもらいましょう！

一方、同日開催された小学生部門の試合では、アンダー8の部でなんと2試合連続での7MTC！会場に駆け付けた親御さんたちとチームメイトの声援を受けて、これまで経験したことのないプレッシャーの中、7Mスローを打ち、そしてゴールマウスに立つ子供たち！チーム数が増えたためにトーナメントとなり、勝負の厳しさを体験するいい機会にもなりました。小学生とはいえ、7Mはたまに練習しておいた方がいいかもしれませんね。

ノルウェーリーグで活躍中の内林絵美選手、上町史織選手が花巻へ！

県民体で総合体育館が熱気に包まれる中、密かに？またもやハンド界のスターが花巻を訪れました。現在ノルウェ



ーリーグのヨーピックというチームに所属するプロハンドボールプレイヤーである内林絵美選手、そして盛岡市出身の全日本代表エース上町史織選手の両名が、シーズンオフを利用して帰国しました。内林選手は、東日本大震災後に、故郷の神奈川県からママチャリで、当時ドイツにて集めた義捐金を被災地である陸前高田市まで届けたという伝説の持ち主。その岩手県との縁がきっかけで、毎年花巻を訪問して下さるようになりました。今年は、県民体の開催中に花巻市総合体育館を訪れ、小学生部門の試合を観戦した後、小学生指導者を対象に講習会を行っていただきました。ご自身のドイツ、ノルウェーでの指導経験を踏まえ、それぞれの国の練習方法などを紹介してくれました。短い時間ではありましたが、指導者からの

質問にも動きを交えながらお答えいただきました。その夜上町選手も合流し、翌日7月7日は、花巻中学校にて1年生の体育の時間に、ハンドボールの出張授業を行いました。ほとんどが初めてハンドボールを体験する生徒たちに、ハンドボールに興味を持ってもらえるような楽しい授業を展開していただきました！ハンドボールの要素でもある「走跳投」という観点から、ウォーミングアップ、キャッチボール、シュートまで、短時間ながらたくさんの動きを取り入れた素晴らしい授業でした。私編集長が感心したのは、3コマ続けての授業において、ウォーミングアップは毎回内容を変えていたことです。コーディネーショントレーニングを取り入れたもの、鬼ごっこをアレンジしたものなど様々な工夫が見られ、生徒たちも全く飽きることなく、一生懸命コートを走り回っていました。最後のシュートでは、ゴールに括り付けた風船をシュートで落とすというゲームをクラス対抗で行いました。うまく競争心を煽りながら、走りの中でたくさんシュートを打つゲームは、生徒たちの心を驚つかみ！みんな一生懸命シュートを打ちまくり、とても盛り上がっていました。初めてハンドボールを体験した生徒たちも、その楽しさを感じてもらえたのではないかと思います。これでハンドボール部員が増えればラッキーですね！



授業の後には、1年生の教室にお邪魔し、一緒に給食をいただきました。生徒たちとの交流を深め、その後廊下を歩いていると内林選手も上町選手もサイン攻め！やはり生徒たちの心をグッとつかんだようです。

訪問の最後には、ハンドボール部の生徒たちへ、県中総体に向けての激励メッセージをいただきました。御礼に、花中ハンド部からもエールをお返し、お互いの頑張りを励まし合いました。

貴重な帰国中の時間をこのような形で過ごしていただき、両選手には本当に感謝です。お二人の今後のノルウェーでの活躍をご祈念するとともに、また来年も花巻でお会いできることを心から楽しみにしています！

花巻クラブジュニアは恒例の親子対決！

7月12日、花巻クラブジュニアは毎年恒例となっている親子対決を行いました。アンダー8、アンダー10、女子、男子と、それぞれの親御さんが5分ゲームを繰り返して行い、その累積得点で勝利を争う方式です。今年は例年になく、序盤からペアレンツチームが大人気なく(?)ダブルスコアでリードしてしまい、小学生たちの勝利が危ぶまれましたが、徐々にジュニアチームが点差を詰め、ついに逆転！最終的には、49-47でジュニアチームの勝ち！頑張ったご褒美として試合後にアイスクリームを食べ、勝利を祝いました。今回もた



くさんの親御さんたちにお集まりいただき、本当に感謝しています。なお、毎年親御さんの中から「実はハンドボールやってみました…」というカミングアウトが聞かれるこのイベントですが、今回もいました！足を伸ばしてシュートを取りに行くGKのお母さん(どう見ても経験者の動き)、懐かしいハンドボールシューズを履いて体育館に現れたお父さん… まだまだ花巻にはハンドボールを盛り上げてくれる人たちがたくさんいるようですよ！ また是非みんなで楽しくハンドボールをやりたいと思います！



L'aile d'Howl (ライルドウル)
2014年7月号
2014年7月25日 発行
発行：花巻市ハンドボール協会
Special thanks to リトルハンド様、
岩手ハンドボール応援ページ様